

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和4年2月4日(2022.2.4)

【国際公開番号】WO2021/095158

【出願番号】特願2021-555690(P2021-555690)

【国際特許分類】

F 1 6 D 49/16(2006.01)

F 1 6 D 65/22(2006.01)

F 1 6 D 65/18(2006.01)

B 6 6 B 11/08(2006.01)

F 1 6 D 121/22(2012.01)

F 1 6 D 121/14(2012.01)

F 1 6 D 121/16(2012.01)

10

【F I】

F 1 6 D 49/16 A

F 1 6 D 65/22

F 1 6 D 65/18

B 6 6 B 11/08 G

F 1 6 D 121:22

F 1 6 D 121:14

F 1 6 D 121:16

20

【手続補正書】

【提出日】令和3年10月28日(2021.10.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電磁コイルと、

制動面に接離するシューが一方の面に取付けられたアーマチュアと、

前記アーマチュアの他方の面と対向して設けられたフィールドと、

前記フィールド又は前記アーマチュアの何れか一方に形成され、前記アーマチュアの往復動をガイドするガイドピンと、

前記ガイドピンに配置され、前記電磁コイルが通電していない時に前記アーマチュアを前記フィールドと離れる方向に移動させる弾性部材と、を備え、

前記ガイドピンは前記弾性部材を配置する中空構造を有していることを特徴とする電磁ブレーキ。

40

【請求項2】

電磁コイルと、

制動面に接離するシューが一方の面に取付けられたアーマチュアと、

前記アーマチュアの他方の面と対向して設けられたフィールドと、

前記フィールド又は前記アーマチュアの何れか一方に形成され、前記アーマチュアの往復動をガイドするガイドピンと、

前記ガイドピンに配置され、前記電磁コイルが通電していない時に前記アーマチュアを前記フィールドと近づく方向に移動させる弾性部材と、を備え、

前記ガイドピンは前記弾性部材を配置する中空構造を有しており、

50

前記電磁コイルの通電時に前記アーマチュアの前記他方の面に備えられた反発手段によって、前記アーマチュアを前記フィールドと離れる方向に移動させる、ことを特徴とする電磁ブレーキ。

【請求項 3】

電磁コイルと、  
制動面に接離するシューが一方の面に取付けられたアーマチュアと、  
前記アーマチュアの他方の面と対向して設けられたフィールドと、  
前記フィールド又は前記アーマチュアの何れか一方に形成され、前記アーマチュアの往復動をガイドするガイドピンと、  
前記ガイドピンに配置され、前記電磁コイルが通電していない時に前記アーマチュアを前記フィールドと離れる方向に移動させる弾性部材と、を備え、  
前記ガイドピンに前記弾性部材が 2 個以上配置されることを特徴とする電磁ブレーキ。

【請求項 4】

電磁コイルと、  
制動面に接離するシューが一方の面に取付けられたアーマチュアと、  
前記アーマチュアの他方の面と対向して設けられたフィールドと、  
前記フィールド又は前記アーマチュアの何れか一方に形成され、前記アーマチュアの往復動をガイドするガイドピンと、  
前記ガイドピンに配置され、前記電磁コイルが通電していない時に前記アーマチュアを前記フィールドと近づく方向に移動させる弾性部材と、を備え、  
前記ガイドピンに前記弾性部材が 2 個以上配置され、

前記電磁コイルの通電時に前記アーマチュアの前記他方の面に備えられた反発手段によって、前記アーマチュアを前記フィールドと離れる方向に移動させる、ことを特徴とする電磁ブレーキ。

【請求項 5】

前記ガイドピンは、円筒型であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 の何れか 1 項に記載の電磁ブレーキ。

【請求項 6】

前記ガイドピンを 2 個以上備えることを特徴とする請求項 1 ~ 5 の何れか 1 項に記載の電磁ブレーキ。

【請求項 7】

前記ガイドピンは、前記電磁コイルの外極部に設けられていることを特徴とする請求項 1 ~ 6 の何れか 1 項に記載の電磁ブレーキ。